



vol. 81
2025.11 甲府西高情報誌

西高のステージへ!
n-stage

山梨県立甲府西高等学校
Kofu Nishi High School

西高生の1日 から見る甲府西高校



西高は通いにくい!?

西高は駅から少し離れていますが、4割を超える生徒が公共交通機関を利用しています。

僕は片道約1時間かけてバスで通学しています。初めは朝早く起きることや、バスに長時間乗ることが大変でしたが、慣れてしまえば全く苦に思いません。僕は乗り物酔いしやすいので20分だけ小テストや定期試験の勉強をするようにして過ごしています。この通学時間のおかげで強制的に勉強することができ、成績を上げたり小テストに合格しやすくなったりしていると感じています。また、遠くから通う場合は、同じ中学校の友達が少なくて人間関係に不安を抱いていました。しかし、西高には優しい人がとても多いので、すぐに友達をつくることができました。さらに、勉強と部活動を両立している人も多いです。西高は朝練がない部活動が多いので、両立しやすいと思います。僕は、西高は遠くからでも通う価値のある学校だと思っています。

佐野 崑太(富士川中(旧鶴沢中)学校出身)

65分授業は大変じゃない!?

西高は県内唯一65分授業を実施しています。

西高の1コマあたりの授業時間は65分で、これは中学校に比べて15分も長いです。この15分は「ただ長いだけの時間」なのではないかと入学前は思っていました。しかし、実際はとても有意義に使われています。教科ごとに使われ方は異なり、授業内容をじっくり振り返ったり、前回の授業をもう一度整理してから授業を始めたり、理解しづらかった部分を丁寧に説明してもらえる時間になります。ただ聞いて終わりではなく、「自分の中に落とし込む時間」があるので、学んだことがしっかり頭に残ります。そのため、分からぬところがあつても、立ち止まって考えたり、分かりやすい解説を聞いたりする時間の余裕があり、置いていかれることが少ないです。65分になって、学ぶことが「作業」ではなく「発見」になった気がします。もし「高校の授業で難しそう」と不安に思っている中学生がいたら、むしろ西高の授業は安心して挑戦できると言いたいです。

小林 桜大(山梨大学教育学部附属中学校出身)

クラスの雰囲気は!?

西高生のホームルームは、どのクラスもアットホーム。互いに親切にし合える仲間ばかりです。

甲府西高校は、一人ひとりの個性が尊重される自由な校風の学校です。私のクラスは、授業中に意見交換をしたり、小テストの予定や課題の提出期限を確認し合ったりしています。中学校より科目が増え、学習内容も難しくなり大変ですが、自分と同じ目標に向かって努力する仲間がいるからこそ、自分も頑張ろうと思えます。鳳凰祭では、クラス展示をみんなで協力して作り上げ、とても盛り上がり忘れない思い出になりました。私のクラスでは「写真スポット」を行い、全員で協力するということを大切に準備期間から当日の運営まで取り組みました。飾りつけの内容や部屋の使い方をリーダーの生徒が中心になって考え、それをクラス全体で共有することで、クラス全体が団結して活動に取り組むことができました。こうした仲間と過ごすことで、成長させられていると私は感じています。

高野 泰我(敷島中学校出身)

西高の文系・理系の比率は?

西高は文系の生徒が多いイメージがあると聞きますが、実は、理系の生徒の方が多いんです。

2年生になる前に文理選択が求められ、私は理系を選択しました。その理由は、数学に興味を持ったからです。数学では、解答までの一つひとつのプロセスを理解していく、何回も解くことで定着していく、自分の成長を実感できます。このプロセスは数学だけでなく、これから生きていく上で色々なところで応用できると考えています。目の前にある問題を解けるようになるだけでは十分な力がついたとは言い難く、数学の本質を理解することが必要です。西高の数学の授業では、そのような理解を深めることができ、個々のニーズに応じた丁寧な指導が行われています。西高はバカラレアなどから連想される文系というイメージが強いかもしれません、このような指導のおかげで、理系を選択する生徒も多いです。

林 愛佳(甲府北東中学校出身)

部活動から見る甲府西高校

部活動一覧

演劇、書道、美術(イラスト)、写真、吹奏楽、音楽、茶道、自然科学、篆刻、ダンス、囲碁将棋、文芸、国際教養、報道部、陸上、ソフトテニス、テニス、野球、サッカー、ハンドボール、バレーボール男女、バスケットボール男女、バドミントン男女、体操、卓球、弓道、剣道、山岳/スキー、水泳

※令和7年度11月現在

令和7年度の主な大会実績

書道部
第13回山梨県高等学校書道パフォーマンス大会 優秀賞

美術部
第51回UTY教育美術展 テレビ山梨賞 小沢美乃 小池里奈

写真部
春季審査会 金賞 金澤遙楓
(令和8年度全国高等学校総合文化祭出場権)

吹奏楽部
第49回全国高等学校総合文化祭マーチング部門出場

囲碁将棋部
第31回西関東吹奏楽コンクール高等学校部門Aの部 銅賞

弓道部
第38回全国高校将棋竜王戦山梨県予選 優勝 野村泰暉
(第49回全国高等学校総合文化祭将棋部門出場)

甲府西高校には、部活動がたくさんあります。中学校から同じ活動を続けて頑張る人もいれば、新たな分野で活躍する人もいます。ここでは、西高の部活動を紹介します。

野球部

今年の夏の大会では、練習の雰囲気作りや試合を想定した練習に力を入れ、甲府西高校野球部の目標『自分達で考える野球』に取り組むことで、3期連続ベスト8という素晴らしい実績を残しました。新チームになつたばかりの頃は、上手く意見がまとまらなかったり、チームの雰囲気が中々上がらなかったりする時もありました。それでもミーティングを重ねて自分たちで練習メニューを考えていくことで、少しずつお互いを理解出来るようになりました。3年生が引退し、2年生中心の新たなチームとなつた今、チーム作りの難しさを再び感じていますが、これからもミーティングや練習でチームメイトと野球の理解を深め、私達の『自分達で考える野球』を目指していきます。そして、来年の夏の大会では、満員の応援席からの声援を背に全力でプレーをし、全校の皆で校歌を何度も歌いたいと思います。

部長 廣野 佑(竜王北中学校出身)

吹奏楽部

私たち吹奏楽部は、7月に香川県で開催された全国高等学校総合文化祭マーチング部門に出場しました。山梨県の高校が総合文化祭マーチング部門に出場するのは約10年ぶりで、多くの方に激励されながら大会に臨みました。最初は基礎的な動きや動線の取得だけでも精一杯でしたが、本番ではこれまでの過程を思い出しながら楽しく演技できました。この経験を生かして、部員がフォーメーションなどを考えたり難しい動きを取り入れたりして、新たな挑戦をしています。また、9月には西関東吹奏楽コンクールにも出場しました。多くの学校が3年生を中心に取り組む中、1・2年生がメインとなって活動することはとても大変でした。しかし、「より良い部活・音楽を作るには」ということをたくさん考え、行動したことにより少しずつ成長できました。こうした大きな大会は、自分たちを成長させる大切な機会となりました。これからも、さらに前進していくたいです。

部長 大沼 心音(田富中学校出身)



学校行事から見る甲府西高校 甲府西高校では、年間を通じて色々な学校行事を行っています。

西高の学園祭は盛り上がりがすごい!?

学園祭である鳳凰祭は、西高生が最も楽しみにしている行事と言っても過言ではありません。5つのブロックに分かれ、学校全体で盛り上がります。今年度は3日間にわたって開催し、大いに盛り上りました。

1日目 (YCC県民文化ホール)

3年次の劇、2年次のダンス、ブロック合唱、文化部発表など



2日目 (甲府西高校)

「西高生の時間」(中庭でのパフォーマンス)

3日目 (一般公開)

1年次の展示発表、2・3年次による模擬店、大空杯など

第74回鳳凰祭では、初めての3日間開催や減点制度の廃止など、これまでにない新しい形での挑戦となりました。準備の段階では、戸惑いや不安もありましたが、仲間と協力し、支え合いながら準備を進めていくうちに、自信や期待へと変わっていきました。当日は、クラスや部活動、ブロックそれぞれが個性を存分に發揮し、会場全体が熱気と笑顔に包まれました。どの企画にも全員が本気で取り組む姿があふれ、西高生らしい工夫と情熱を感じられました。互いを支え合いながら全力で取り組む姿勢が一人ひとりの思いを一つにし、最高の鳳凰祭を作り上げることができたと思います。無事に全日程を終え、大成功を収めることができたのは、支えてくださった先生方や協力してくださった各団体の皆様、全力で準備や運営に取り組んだ生徒の皆さん、温かく見守ってくださった保護者の皆様、そして足を運んでくださった来場者の皆様のおかげです。心から感謝しています。本当にありがとうございました。

鳳凰祭実行委員長 齊藤 愛華(押原中学校出身)



体育祭が室内!?

今年度は、小瀬スポーツ公園体育館にて体育祭を開催しました。天候に左右されることなく、全学年で汗を流して、スポーツを楽しみました。



小瀬スポーツ公園の体育館を借りて体育祭を実施するのは初めてのことで、全く予想のつかない中、準備をしてきました。先生方にも協力していただき、全校生徒がどういったことを求めているのかじっくり考え、たくさんの時間を費やしました。その結果、思い出に残る体育祭となりました。今後も思考を重ねて、様々な企画を実施していきます。

体育局長 河野 拓真(櫛形中学校出身)



文化ホールで学校行事!?

YCC県民文化ホールは、甲府西高校の前進である甲府第二高校があった場所です。西高ゆかりの地であり、学校から近いため、学校行事でよく利用します。10月2日(木)には、芸術鑑賞会を開き、演劇「12人の怒れる男たち」(東京芸術座)を鑑賞しました。



今年の芸術鑑賞会では「12人の怒れる男たち」を観劇しました。人の心が動く瞬間が丁寧に描かれていて、自分の意志を持ち、冷静に考えることの大切さを感じました。俳優の方々の台詞回しや息づかい、表情の一つひとつが違っていて、表現力の高さに圧倒されました。私は演劇部に所属しているので、言葉の使い方や空気の作り方など、今回学んだことをこれからの活動に生かしていきたいです。

上原 亜桜衣(山梨北中学校出身)





校長 渡邊 英裕

西高 ~N-Stage~

本校は現在、外壁工事のため青いネットに覆われています。校舎の姿が一時的に見えにくくなっているこの期間は、まるで本校が新たな歴史を刻み始める準備をしているかのようにも感じられます。

秋も深まりゆく10月の夕方、中庭に出て南館を見上げると、3階の自習室から蛍光灯の光がうっすらと漏れているのが目に入ります。辺りはすでに薄暗く、青いネット越しに浮かび上がるその光の下では、3年次生がそれぞれの夢に向かって懸命に努力を重ねています。

生徒たちの努力が実を結び、それぞれの未来へと羽ばたいていく日を、教職員一同、心から願っています。

そして、この青いネットが取り払われるとき、校舎とともに、生徒たちの成長した姿がより一層輝いて見えることでしょう。甲府西高校は引き継いできた歴史を大切にしつつ、生徒と共に新しい歴史を刻み続けてまいります。

探究活動から見る甲府西高校

西高の探究活動は調べただけでは終わらない!?

甲府西高校は、総合的な探究の時間を「鳳凰学」と呼び、個々の興味関心をもとに探究活動を行います。3年次は研究論文を作成し、発表します。この発表を、毎年YCC県民文化ホールで実施し、今年度はポスター発表とスライド発表を実施しました。スライド発表では、山梨大学や広島大学から審査員をお迎えし、最優秀賞、優秀賞が選ばれました。なお、発表に先立って、山梨大学の若山照彦先生の基調講演を行いました。

最優秀賞

「濡れた紙冊子をきれいに乾かす方法」渡邊彩那(柳ヶ崎中学校出身)

優秀賞

「ヘアアイロンによる毛髪のダメージの違い」深澤陽子(柳ヶ崎中学校出身)

「炭酸水の唾液緩衝能の程度とは」村田梨理花(柳ヶ崎中学校出身)

「スポーツカーのエンジン音を音響心理学で考える」飯島瑞生(柳ヶ崎中学校出身)

「商圏の重なり度合いを考慮したハフモデルの新手法」近藤左京(柳ヶ崎中学校出身)

奨励賞

「需要のある書店の形」雨宮蓮(柳ヶ崎中学校出身)・市川知歩(柳ヶ崎中学校出身)

「心理的競技能力と的中率の関係について」矢崎茉那(柳ヶ崎中学校出身)

「咀嚼が作業スピードに及ぼす影響」松沼真由(柳ヶ崎中学校出身)

「『やばい』における高校生の認識と文字コミュニケーション」勝村陽葉(柳ヶ崎中学校出身)

「チャット上の表現の違いが与える感情推定への影響」内田晴(柳ヶ崎中学校出身)



西高の探究活動は、自分が興味を思い切り追求できる学びの場だと感じています。私は探究活動で「濡れた紙冊子を綺麗に乾かす方法」を研究し、内容だけでなく実験の進め方や仮説を立て考察する力、考えを伝える力など多くの学びを得ました。また、n-Questでは研究成果を全校生徒や先生方、大学の先生方にも発表する機会をいただき、質問やアドバイスを通して新たな視点を得られる貴重な経験となりました。発表後「この研究を自分も生活に活かしたい」という感想を聞いた時は、研究が人の役に立つことを感じ、嬉しかったです。これらの学びを生活の課題解決や大学の研究にも活かし、より良い探究活動へと繋げていきたいです。

渡邊 彩那(柳ヶ崎中学校出身)



山梨県立甲府西高等学校

〒400-0064 山梨県甲府市下飯田4丁目1-1

TEL:055-228-5161 FAX:055-228-5164

URL <https://www.nishi.kai.ed.jp/>

発行日／2025.11 編集／広報委員会



*stage /steɪdʒ/

〔「立っている場所」が原義〕一回(塊) ~s/-ɪz/ ◎

1 舞台、ステージ◆世界の象徴〕

2 [活動の]舞台、場所[for, of]

3 (発達・発展などの)段階、時期

用例) 1 N-stage 西高生の時代(時期)

2 N-stage 西高生の活動舞台